

# アスベスト Q&A



## Q. アスベストってなあに？

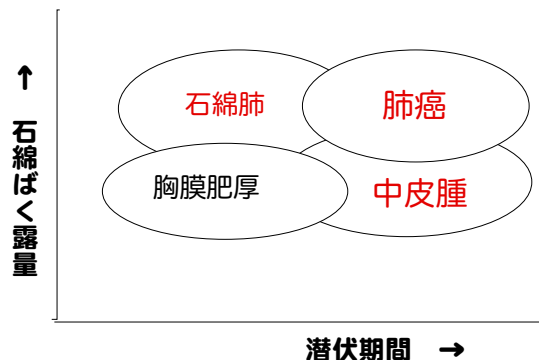
「石綿」と呼ばれ、地中で結晶した繊維状の鉱石です。耐熱性、保温性、耐久性、耐薬品性、電気絶縁性にすぐれており、布状や糸状にも加工でき、更に安価といったことから、様々な用途に使用されてきました。

日本では北海道、熊本、長崎の一部に鉱脈があるだけであり、ほとんど外国から輸入していました。日本は世界有数の石綿輸入国でした。

## Q. どういうところに使われているの？

艦船、機関車、水道管、製鉄・科学工場の断熱、自動車のブレーキライニング・建材（天井・壁・内装など）等、様々です。

## Q. どんな病気になるの？



石綿は吸入曝露から数十年の潜伏期間を経た後、重篤な病気が発症することから「静かな時限爆弾」と言われてきました。

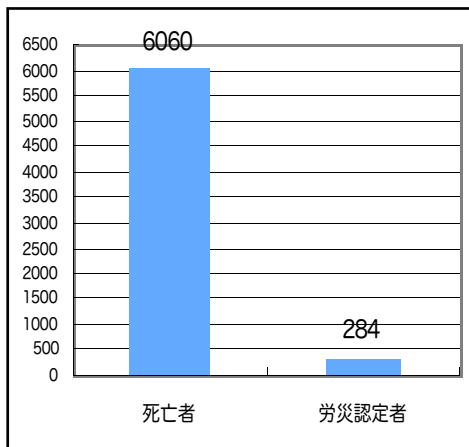
“中皮腫”は現時点では根治療法がないといわれており、新薬の臨床試験が始まった段階です。

肺癌を合併した石綿肺の患者さんの肺の電子顕微鏡写真。

（白い針状のものがアスベストの繊維）



## Q. 労災認定について



“中皮腫”の約8割が石綿によるものといわれています。左のグラフは“中皮腫”による労災認定者（1995年～2004年）と“中皮腫”による死亡者数（6,060名）をあらわしたものです。労災認定者数は284名にすぎず、死亡した人のうちのわずか4.7%となっています。多くの方が労災認定されず、放置されている実態があります。今後、労災申請への援助が重要です。

石綿による肺癌や中皮腫は潜伏期間が約30年～40年と長く、過去に使用された石綿による健康被害が、今後本格的に現れるといわれています。これから40年間の中皮腫による死亡者を、10万人と推計する研究者もいます。